

ワークショップの趣旨・目的

富山市は、公共施設等の管理を計画的に行い、限られた財源のなかで将来にわたって適切な維持管理を行うため、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。公共施設等の更新や統廃合、長寿命化などを計画的に行うことを目的として「富山市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

この計画に基づき、「富山市公共施設マネジメントアクションプラン」を策定し、今後の公共施設の具体的な見直しの方向性を示しています。

「富山市公共施設マネジメントアクションプラン」では、基本方針として、「まちづくりと連動した施設のあり方の検討」を行うこととしており、地域の実情に沿った地域別実行計画を、市民の皆様のご意見を伺いながら策定していくこととしています。

再編の基本方針

- 基本方針1 施設機能の再編と総量の縮減
- 基本方針2 計画的な保全による施設の長寿命化
- 基本方針3 まちづくりと連動した施設のあり方の検討

富山市は、皆様のご意見を反映させた大沢野地域の「地域別実行計画」を策定し、施設の再配置を進めることで、地域の皆様が住みやすい、また、住み続けたいと思うまちづくりを進めていきます。

また、公共施設再編を具体的に推進するプロジェクト「リーディングプロジェクト」をつくり、計画から実行まで進めていきます。

(1) 地域別実行計画

地域別実行計画は、「富山市公共施設マネジメントアクションプラン」に基づき、地域の実情やニーズをふまえ、公共施設の再編に向けた方針を定めるものです。

地域別実行計画では、公共施設の用途別に、将来の整備方針を定めます。用途別の整備方針は、地域の課題や特徴、まちづくりなどを踏まえ、より地域の実情を反映させるものとします。

地域別実行計画

地域別実行計画は、地域の実情をふまえ公共施設の将来の整備方針を定めるものです。具体的には、

- ①当該用途そのものの存続の要否
- ②（存続の場合）どのような機能強化・変更をするか
- ③どういう手法（複合・集約、継続）を用いるか

について地域の状況を考慮することで、より実効性の高い計画を作成します。

ワークショップでは、地域の課題を踏まえ、特色を反映した再整備の方向性についてご議論いただきます。

(2) リーディングプロジェクト

また、公共施設の再編を具体的に推進していくためのプロジェクトとして、大沢野行政サービスセンターを中心とした地域の核となる公共施設の複合化（リーディングプロジェクト）を進めていきます。

リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクトは地域の核となる地域生活拠点（郊外の串とお団子のお団子エリア）において、大沢野行政サービスセンターを核に、公共施設の再編を検討するものです。再編の検討対象となる施設・事業については、具体的な実施スケジュールを明記します。

ワークショップでは、どのような機能を持ち、どのような施設とするかをご議論いただきます。

●リーディングプロジェクトの検討にあたっての前提条件・検討事項

リーディングプロジェクトの検討にあたっては、以下の点を前提条件とします。

- ①既存の大沢野行政サービスセンターは解体し、行政サービスセンター機能を中心に、建替え（新規整備）を行います。
- ②新規整備をするに当たっては、周辺にある複数の施設のサービス機能を集約した複合施設として、利便性の向上を図ります。
- ③複合施設の延床面積は、既存施設の延床面積の合計からの縮小を図ります。上記を前提とすることにより、下記の点を検討することが必要となります。

【検討事項】

- 建替え（新規整備）を実施する施設に必要な機能は何か？
- 上記を整備することで不要となる既存の公共施設は何か？
- 大沢野地域の公共サービスの拠点とするために、工夫すべきことは何か？

(3) 最後に

「地域別実行計画（用途別整備方針）」と「リーディングプロジェクト」は、本ワークショップをはじめとして、複数の方法によって地域の皆様からのご意見をいただき、最終的には富山市が策定します。